



平和のこと



日本生協連主催

「ピースアクション in ヒロシマ」報告

8/5～8/6に、組合員・職員計11人で日本生協連主催の『ピースアクション in ヒロシマ』に参加しました。

1日目 午前中は映画『この世界の片隅に』を視聴しました。1944年、18歳のすずは広島から呉へ嫁ぎ、戦時下でも周囲の人々と日々の暮らしを大切に過ごしていました。しかし戦争・空襲によって大切なものを失ってしまいます。大きな悲しみや理不尽に負けず、懸命に生きる姿を描いた物語です。

午後からは『虹のひろば』に参加しました。原爆でわが子を亡くされた父母らの手記を俳優 紺野美佐子さんが朗読され、NPT再検討会議に参加した高校生から報告等がありました。その後、平和記念公園 原爆の子の像に、みなさんから寄せられた折り鶴を奉納し、平和記念資料館を見学しました。



2日目

青天の空のもと、今年度は一般席にて式典へ参列することができ、大変貴重な経験となりました。式典では、慰霊碑を正面に臨み黙とうを捧げ、81年前の広島に想いを寄せました。また、平和宣言を拝聴する中で、参列者とともに平和への願いを共有することができ、二度と同じ過ちを繰り返してはならないという決意を新たにしました。

その後、広島県原爆被害者団体協議会さんにご協力いただき平和公園内の碑めぐりを実施しました。当時の状況や原爆に関する知識などを詳しく教えていただき、原爆の恐ろしさを再認識させられました。

参加者の声
(抜粋)

正直、戦争反対!と簡単には思いつつも日々の平和の中で何も考えず生きている事がほとんどでした。原爆の絵を描いた学生さんが出てきた時に、私は絵を見て、うわ!と声をだしてしまいました。それは被爆した人の姿で、やけどや血で、姿形のない人でした。その後の展示物紹介でも目の当たりにした悲惨な様子に本当に言葉が出ませんでした。ふとホテルで夜中に目が覚め、一緒に参加していた子どもを見て、この普通の日常が一瞬で消え去るんだと怖くなりました。

平和記念式典にも参加し、平和を祈る人や、私のように『ヒロシマ』を学びたい人が世界中にいたんだと胸があつくなりました。



1日目視聴の『この世界の片隅に』は戦時下の様子がよく分かり、午後の手記朗読を聞いた際、より一層原爆の被害を想像できる下地になったように思います。2日目の碑巡りの順番や、分かり易く興味を持てるお話には、ガイドさんのスキルの高さに感心いたしました。

NPT再検討会議の参加者報告は、高校生たちによる代表団の2人がしっかり行ってくれて、今後の活動の継承に期待感を持たせてくれました。

8月6日の広島に立つということは、非核への思いを強めてくれます。参加させていただき本当にありがとうございました。

【25年度平和募金 募金額のお知らせ】

**平和募金へのご協力
ありがとうございます**

平和募金は、よどがわ市民生協の平和の取り組みに使用しています。今回のピースアクション in ヒロシマでも一部使用させていただきました。今後もよろしくお願いいたします。

2025年度 総額

74万1,900円



予告

ピースアクション in オキナワ 『第44回 沖縄戦跡・基地めぐり』

沖縄戦や基地問題について学べる平和スタディツアーです。

日時・内容

- 3/24 学習講習会、夕食懇親会
- 3/25～26 フィールドワーク
(大型バスにて、戦跡、基地などを訪れます)

過去の様子は
コチラ



詳細・募集要項・申込み方法はティータム10月号に掲載します。ぜひご覧ください。